

2018年5月14日  
株式会社オールアバウト

＜経済産業省補助事業「産地ブランド化推進事業」＞  
地域産品の産地ブランド化の推進を支援する  
**「Local Creators' Market 2018」が始動**  
2018年5月14日より支援組合・事業者の募集を開始  
東京・大阪・名古屋・仙台など全国9地域で事業説明会を開催

外国人目線で日本の魅力を海外向けに発信する情報サイト「All About Japan」を運営する株式会社オールアバウト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：江幡 哲也）は、経済産業省補助事業を受け、海外マーケットに精通する有識者を起用し、地域産品（※）の産地ブランド化の推進、海外展開に向けた活動を支援するプロジェクト「Local Creators' Market（ローカル・クリエイターズ・マーケット）2018」を実施いたします。

プロジェクト始動に際し、地域産品の産地組合や製造事業者など、本事業に参画する事業者と自治体で構成される産地チームの公募を、2018年5月14日より開始いたします。また、全国9箇所で説明会を順次開催いたします。

※地域産品とは、日々の生活に密接に関連した日用品や生活用品を指します

■ Local Creators' Market URL: <http://local-creators-market.com/business/>

海外で評価が高い日本の伝統工芸品ですが、広く認知されている地域産品はごく一部に留まり、隠れた魅力を秘めた名品やその産地を、いかに海外に訴求していくかが課題となっています。また、日本の伝統工芸品に関する情報量が限定的であるために、海外品と混同されるなど情報発信やブランディングにおいても課題があり、その海外展開においては、ワールドワイドなブランドの確立、効果的な情報発信システムの構築、インバウンドの獲得など、適切なマーケティングコミュニケーションの設計が重要となります。

昨年に続き、2年目となる Local Creators' Market では、All About Japan が日本政府との多岐にわたるプロジェクトで培ったネットワークを活用し、日本に造詣が深く、海外での販路開拓や PR の知見を持つプロデューサーなど、国内外の有識者で構成するプロジェクトチームを産地の特性・指向に合わせて編成。本プロジェクトの総合プロデューサーであり、日本の文化を世界に向けて発信する英文雑誌「家庭画報 国際版 (Kateigaho International Edition)」の編集長を務めた三宅 暁氏や、トヨタ自動車レクサスのブランドマネジメント部長として、グローバルブランディング統括の経験を持つ高田敦史氏などの有識者を、自治体や製造業者、その他関係業種ネットワークにより形成された採択産地に招聘し、技術やストーリーなど、ブランドや産地が持つ魅力、海外需要をグローバル視点で発掘。その価値を最大限に活かす、アウトバウンド及びインバウンドの両面を鑑みたブランディング、国内外への情報発信や、販促活動などのプロモーションを支援いたします。

## 【「Local Creators' Market」プロジェクト 概要】

### ■プロジェクト構想

#### (1) プロジェクトチームの編成

産地の特性・指向に合わせ、海外マーケットに精通する有識者で構成するプロジェクトチームを編成。産地へ招聘し、伝統工芸品や地域産品が持つ特色を活用する産地ブランドの確立を支援。

#### (2) 事業計画のサポート

産地の事業計画の立案や、課題に対する解決策の提示など、グローバル視点でのコンサルティングを実施。

#### (3) ストーリーブックと動画による販促活動

プロジェクトの取り組みや海外販路開拓に向けた地域産品の特徴と魅力を纏めたストーリーブックや動画を製作し、各地域のプロモーション活動を支援。

#### (4) 継続的かつ効果的な情報発信と拡散

特設サイトによる国内外への情報発信を実施。また、継続的に発信を行い、効果的な情報発信を行う。

#### (5) 国内外とのビジネスマッチングを創出

海外展開に知見のある専門家やクリエイター、デザイナー、国内外で活動する流通業者やバイヤー、ギャラリーオーナー等とのビジネスマッチングの機会を提供。

#### (6) コミュニケーターの配置 (NEW)

海外との円滑なコミュニケーションを目的に、ターゲット市場に合った高度な言語力を有する人材を発掘し、起用する。※今年度、新たに設けた施策です

### ■プロジェクトへの申し込みについて

「Local Creators' Market」 募集要項	
応募期間	2018年5月14日(月)～6月29日(金)
応募方法	特設サイトより応募申請書をダウンロードし、問い合わせ窓口へ電子メールにて送付ください。 ■応募申請書ダウンロード： <a href="http://local-creators-market.com/business/">http://local-creators-market.com/business/</a> ■問い合わせ窓口：info@local-creators-market.com
応募資格	・日本に拠点を置く、自治体や組合、事業者等でグループ形成していること。 ・事業を円滑に遂行するために、必要な経営基盤、組織、人員等を有していること。 ・日本の技術力や日本人の感性を掛け合わせた、魅力ある商材やサービスを取り扱っていること。 ・海外市場への販路開拓などに意欲的であること
審査の流れ	応募申請書への記載内容をもとに書類審査を実施した後、第三者による最終審査会にて選定いたします。
結果発表	応募申請書をお送りいただいた電子メールに事前通知の上、2018年7月に特設サイトにて発表いたします。

## ■プロジェクト概要 説明会の実施について

事業者の公募に伴い、当事業に関する説明会を全国9箇所で開催いたします。

※定員に達した場合は先着順のご案内となります。

※説明会への参加は必須ではありません。

※最寄りの会場以外での参加も可能です。

<参加申し込みフォーム>

<https://goo.gl/RrWzmH>

開催日	時間	場所	会場名	住所
5月22日(火)	開始:15時00分 終了:16時30分 ※受付は14時50分～	東京	経済産業省 (本館2階西3共用会議室)	東京都千代田区霞が関1-3-1
5月23日(水)		大阪	近畿経済産業局 (大阪合同庁舎第1別館2階 202会議室)	大阪府大阪市中央区大手前1-5-44
5月25日(金)		香川	四国経済産業局 (高松サンポート合同庁舎北館6階 607会議室)	香川県高松市サンポート3-33
5月28日(月)		愛知/名古屋	中部経済産業局 (中部経済産業局総合庁舎 1階 第1会議室)	愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2
5月31日(木)		沖縄/那覇	沖縄総合事務局経済産業部 (那覇第2地方合同庁舎2号館 10階会議室)	沖縄県那覇市おもろまち2-1-1
6月1日(金)		福岡	九州経済産業局 (福岡合同庁舎1階九経交流プラザ会議室)	福岡県福岡市博多区博多駅東2-11-1
6月4日(月)		広島	中国経済産業局 (3号館1階 第5会議室)	広島県広島市中区上八丁堀6-30
6月5日(火)		宮城/仙台	東北経済産業局 (5階A・B会議室)	宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
6月6日(水)		北海道	北海道経済産業局 (札幌第1合同庁舎6階第3会議室)	北海道札幌市北区北8条西2丁目

## ■プロジェクトメンバー

<総合プロデューサー>

株式会社編輯舎 代表 三宅 暁氏



東京都生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒。日本の文化を日本人の手で世界に向けて発信する英文雑誌『Kateigaho International Edition』の編集長を務め、日本各地に息づく食文化や工芸、旅、アート、建築など、伝統からコンテンポラリーまで幅広いジャンルのトピックスを世界40か国以上に紹介してきた。2015年、株式会社編輯舎を設立し、書籍や雑誌の編集・デザイン、日本ブランドを海外にPRする英文冊子・カタログの編集などを行う。

## <プロデューサー>

### Comculture LLC. 代表 瀧上妙子



1981年の渡米以来、積み重ねた経験から日米両国ビジネス習慣への見識深く米国の食産業界に幅広いネットワークを有する。

主に食関連企業をクライアントに持ち、農林水産省、外務省、東京都、石川県など日本政府や地方自治体とのプロジェクトの経験値も高い。

商品の海外における市場開発、グローバル化、ローカル化の必要性やブランド構築に関するコンサルティングを行う。日本の食文化や技術、食材のプロモーションなどを目的としたイベントの開催も手がけ、その独創的な発想と着眼点には定評がある。

### A.T. Marketing Solution 代表 高田敦史



元トヨタ自動車、レクサスブランドマネジメント部長。1987年トヨタ自動車入社。宣伝部を経て、商品企画部で生活者分析、新コンセプト車の企画に携わる。タイ、シンガポールにて5年間の海外駐在。その後、トヨタマーケティングジャパンで再び宣伝業務を担当し、2012年6月よりレクサスブランドマネジメント部

長として、レクサスのグローバルブランディングを統括。2016年7月に退社し、A.T. Marketing Solutionを設立し、マーケティングアドバイスをを行う。

### ■ 「All About Japan」について URL : <http://allabout-japan.com/en/>

2015年9月に開設した「All About Japan」は、“グローバル視点で日本の魅力を発掘・発信”をビジョンに、観光だけでなくグルメ・文化・技術といったカテゴリで、通な国内情報をはじめ、海外における日本情報までも幅広く取り扱う日本総合情報サイトです。週替りに設定されたテーマ (ex : RAMEN、ONSEN、Cafe、BENTO、Toilets) に合わせ、国内外在住の日本通のブロガーならびにライター約500名によるオリジナル記事を、英語、中国語 (簡体字・繁体字)、タイ語、韓国語の計5ヶ国語で紹介しています。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：  
株式会社オールアバウト 広報担当：柏原・大貫  
TEL : 03-6362-1309 FAX : 03-6682-4229  
E-mail : pr@staff.allabout.co.jp

## <参考資料>

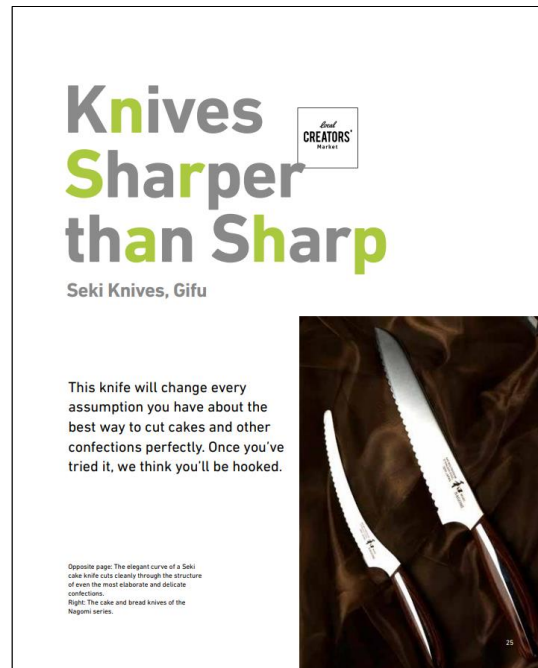
### 2017 年度「Local Creators' Market」の取り組み事例

2017 年度の Local Creators' Market では、計 5 産地を採択し、海外販路の開拓を目的とするコンサル事業を実施いたしました。その中の一つ、鎌倉時代から続く刀・刃物の名産地である岐阜県関市の事例を紹介いたします。

#### 産地：岐阜県関市 産品：刃物・包丁

日本製の包丁の取り扱いが米国やフランスにおいて珍しくなくなってきた昨今、北米市場にターゲットを絞り海外販路開拓を希望する関市は、オリジナルブランド「和 NAGOMI」を立ち上げ、和包丁の魅力訴求を行いました。しかしながら、海外で和包丁を訴求している国内メーカーは多数存在するほか、一部ではダマスカスという縞模様の包丁が和包丁と認識されている実態があり、和包丁の中でも関の刃物のブランド価値の訴求と差別化に課題がありました。

そこで本プロジェクトでは、海外の食事情にもトレンドにも豊富な知識を持つ、在 NY の瀧上がプロデューサーに就任。「和 NAGOMI」の多様なラインナップから、三徳やペティナイフとは異なり、世に大きく知られているメーカーが無く、海外の生活様式に溶け込みやすいパンナイフとケーキナイフへの可能性に着目し、ブランディングの方向性を設計しました。プロモーション戦略の立案においては、著名パティシエシェフとフード・ジャーナリストに対しテストマーケティングを実施。また産地へ招聘し、現地視察を経ての意見交換の機会を創出いたしました。その結果、関の刃物の魅力として、切れ味の良さだけでなく、「切ることの楽しさ」や「持つことの喜び」の訴求が国内外への販促に有効であると見極め、その価値をストーリーブックや動画などで表現しました。また、越境 EC サイト NIHON ICHIBAN（運営：株式会社ちん里う本店、代表取締役社長：小峯孝子）において、そのマーケットインの発想で考えられたプロダクトコンセプトが評価され、欧州の販売理契約も策定中。現在も、本プロジェクトで設計したブランドコンセプトを軸に、海外展開に向け事業が推進されています。



#### ■ストーリーブック

<http://local-creators-market.com/seki/>

